

第33号 (1月号) 2016年 1月1日	七里ヶ丘子ども若者支援研究所 <b>それが社会参加だ！</b>	住所:鎌倉市七里ヶ浜東 2-31-12 連絡先:090-7212-4055 Email:qq5656r9@happtown.ocn.ne.jp 編集長:新舛秀浩 発行責任者:滝田衛
--------------------------------	------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

## あけましておめでとうございます 本年もよろしくお願ひ致します

昨年はおかげさまで講演会2回を開くことが出来ました。心より感謝します。本年は不登校の問題解決のサミットを開催します。是非皆様の知恵をお貸しください。(編集長 新舛秀浩)



12月応援団会議

## 人との出会いは笑顔が生まれる第一歩

ご無沙汰しております、永野です。皆さまは昨年 2015 年をどう過ごされましたでしょうか。私の 2015 年は、やりたいことを的に絞ることができました。純粋に横須賀が好きなので、何かまちづくりのお手伝いができればと思い、仕事が終わった後、プロボノやボランティアを多方面に実行していました。活動のなかで沢山の人の出会い、「ありがとう」の言葉に喜び、ますます活動を続けていきました。今も継続的に、ともしびショップマリンの WEB 担当等のプロボノはしていますが、一番のおすすめは「横須賀で国際交流」です。

自分が生まれ育った地元横須賀は米軍基地があるため、中央や汐入を歩くと必ず外国人とすれ違う。しかも金曜の夜となると、本町は外国人でわんさか盛り上がっています。私だけでなく友人の多くが、英会話を勉強したい、外国人と仲良くなりたい、異文化を学びたい、といった声が多く挙がっていました。しかしなかなか外国人と知り合うチャンスがない。夜のドブ板通りはちょっと緊張する、といった声もありました。せっかく沢山の外国人が横須賀にいるのにチャンスがないのは勿体ない。そこで私は「ヨコスカ国際交流くらぶ」という市民団体を立ち上げたのです。月に1回、英語と日本語で交流する定例会と、年に3回ほどの大きなイベントを企画する団体です。書道や茶道を含む日本文化を外国人におもてなししたり、福社会館で日本の料理(お好み焼き等)を外国人と作って食べたり、と言語や文化を学ぶだけでなく、誰もが気軽に友達をつくることのできるイベントを立ち上げています。横須賀で外国人と仲良く交流できるチャンスをもっと作っていきたいです。これによって、国際平和が生まれるきっかけとなる機会になれば幸いです。私は、人との出会いは笑顔が生まれる第一歩だと信じています。永野亜由美(横須賀市 会社員・会員)

### コラム風 12月「貧困」フォーラムに鎌倉で登壇した。インクルージョンネットかながわ鈴木晶

子さんのお誘いを受けて…。茅ヶ崎市さいとうさんち早川仁美さん、逗子市遊悠楽舎明石紀久男さん、慶応大学研究者秋山美紀さんとご一緒し、学び充実した時間を頂いた。憲法 25 条の生存権を侵害する「貧困」、OECD(経済協力開発機構)では下から 3 番目の最貧国日本。すでに不登校や社会的ひきこもり、発達障害で苦戦する子ども若者が困難を抱えていたのは 2005 年頃、新自由主義経済が日本を米国化(欧州は別)していた。必然としての「貧困」、緊急で取り組むべきだ。しかし「困っている」「可愛そう」の上から目線ではなく、同時代を生きる仲間としての共感「共に生きる」が根幹、市民として。(滝田衛)



## 12月こども若者応援団会議 カタルカで盛り上がり親子の育ち合い

寒さが強まる20日11名のご参加感謝致します。高島智子さんに持参して頂いたカタルカ(トランプの形で単語が記載)にて交流・自己紹介その後各々の近況報告。皆さん1年を振り返って下さいました。高比良さんが我子との成長の歴史を、親子が信頼し合う秘話をお話いただき、年度の締めくりにふさわしい会議となりました。さて1月予定の講演会を3月に延期し、「いじめ・不登校は大人の問題」と題し地域と行



(くりはまの国イルミネーション

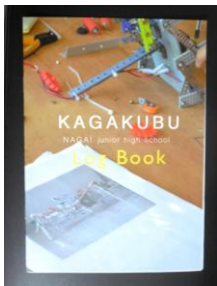
川辺悟史さん撮影)

が共同していじめ・不登校を解決してゆくサミットをかかげ開催します。1月応援団会議はサミットの具体化を論議します。最善の努力で進めていきます。

## 実践者の共有の場として

龍崎明信さん(会員)

前回より始まったこども若者応援団連続講演会、昨年11月8日は第二回「こども若者が生きやすい社会へ」として講演会が行われました。今回は3人の講師をお呼びしており、学習支援「たすき塾」の高島さん、沖縄大学名誉教授で教育者である加藤先生、フリースペース「地球屋」主宰の島根さん特に高島さんと島根さんは、実際に「ひきこもりの子育て」をご経験された実践者でもあり、親目線での意見、また実践者としてのリアルな経験は、同じ境遇に立つ実践者の方には救いになるのではないのでしょうか。(※左写真は龍崎さん制作の中学生応援冊子)



何を経験してきたか? ひきこもりか? いじめか? どのように乗り越えたのか? このような問題は、なかなか議論しても答えのあるものではないかもしれません。であれば、これらのケースを共有すること、同じ悩みも共有すること、で見えてくる何かもあるのではないのでしょうか? 今回の講演会が、実践者の共有の場、になれること、そして今後もそれに貢献できることを願って、活動を続けていこうと思っております。(会員龍崎さんから感想頂きました。感謝! by 新舛編集長)

## それぞれの風

- 相談者の若者が「ギターやりたい」、この一言で御茶ノ水へ。人波の12月土曜日、チェック甘く東京のお店開店は11時(笑)、お茶飲んで歓談。僕も買いたくなった。
- 福祉につながった若者がいる。緘黙(かんもく)だが笑いの表情はgoodだ。ゲームの天才の姿が見受けられるが、生活は親がかり。しかしなぜ穏やかな日々がおくれる、素敵な生きざま。
- 東大駒場へ行ってきました。前号でも紹介しました中学1年OAさんのROCKT(異才発掘プロジェクト)開校式。緊張のはずのOAさんは堂々たる姿、プレゼンテーションはTVのキャスターばりで圧巻でした。空間美術の鈴木さん、ロボットの高橋さん、「指導者」中邑さん、凄いスタッフ。
- 神奈川県教委「小中一貫教育推進会議」委員に、悩ましいが民間の発言もと出席。TBSニュース23取材等、子ども若者や人との出会いと交流が僕の生き様を鍛えてくれる。(滝田衛)

**【ご参加下さい】**  
**応援団会議は**  
**横須賀市・市民**  
**サポートセンター**  
**午後2時～4時**  
**会員の自由な**  
**集まりです。**

1月研究所開設日程(駐車場有)相談時間10時～16時 土日訪問要相談

4日(月)	他事業	21日(木)	相談
7日(木)	他事業	<b>24日(日)</b>	<b>応援団会議</b>
<b>11日(月)</b>	<b>祝日</b>	25日(月)	相談
14日(木)	相談	28日(木)	他事業
18日(月)	相談	30日(土)pm	小田原市不登校体験談相談会講演他